



6月定例会 一般質問 議会報告 抜粋



■再造林に必要な 苗木の確保について

【山岸】現在県内の人工林は、主伐期になるものが約7割になるうとしている。今後主伐を計画的に進め、偏った年齢構成を平準化していく必要がある。再造林の現状や苗木の確保は?

【林務部長】平成28年度の再造林面積は364ヘクタール。5年前の1.7倍、今後も増加が予想される。苗木の不足も予想されることから、関係機関と連携し苗木の需要見通しの作成等、計画的な生産拡大に向けて取り組んでいく。

■武道振興について

【山岸】県立武道館は、東京オリンピックを見据えた日程で建設準備が進められているとの事。進捗状況は?

【教育長】プロポーザル審査会で選定された者と昨年12月に設計業務委託契約を締結。現在設計中で、本年11月に設計完了予定。平成30年前半に工事着手、東京オリンピック前年の平成31年度中の供用開始を目指している。

【山岸】近年、若者の武道離れの傾向が強いが、武道館建設を機に武道振興につなげるためには? 【教育長】まずは、青少年に武道の魅力を感じてもらおう事が重要。県立武道館では、トップレベルの選手が参加する大会、講習会を誘致し、直接観戦による理解と関心を高めたい。また、研修会も幅広く開催し、質の高い指導に努めたい。

※詳細は、県議会ホームページをご覧ください。

小諸市と 佐久地域振興局との 情報交換会(7月28日)

浅間山火山防災対策、農林商工業、観光及び高齢者の社会参加、中部横断自動車道、地域包括ケアシステム等地域課題について、「2017環境フェア in 佐久 Jump Out! 小諸」等、幅広い分野にわたり、組織が新しくなった佐久地域振興局の取り組みと情報交換が行われました。



県政報告会 (7月23日)

6月定例会にはじまり、次期5ヶ年総合計画、選挙区特別委員会、信州DC キャンペーン等を報告。たくさんの方々のご参加に厚く御礼申し上げます。



小諸市内 国道、県道現地視察

5月に県建設事務所、市建設関係者と市内の現地調査を行いました。調査地を抜粋にご紹介致します。

- 耳取三箇停車場線 (交通安全対策)
- 御影新田、借宿小諸線 (道路拡幅)
- 小諸高校前、八幡町 (交通安全対策)
- 小諸上田線、市町 (道路拡幅)
- 馬瀬口小諸線、柏木 (道路拡幅)



「信州山の日フェスタ」 in小諸・高峰高原 (7月23日)

阿部知事、小泉小諸市長の出席のもと、山岳関係者ほか多数出席をいただき、高峰高原にて開催。千曲小学校みどりの少年団が「信州山の日」宣言を行いました。



愛媛・高知視察 (7月12、14日)

松山では、森林環境税の取り組みと実績報告を受け、高知県では地元産のヒノキやスギで作られた檜原(ゆすはら)役場を視察。先進地である四国の森林施策を学び、今後の県の森林政策に役立たいと思います。



韓国視察(7月18~21日) 江原道・ソウル市

来年2月の平昌オリンピック開催の地である江原道を、日韓親善促進議員連盟の一員として施設を視察。松本空港へのチャーター便運行を協議。平成30年より県職員が派遣される予定で、今後さらに交流が深まるよう努力していきます。



市内道路建設促進協議会

8月2、4日にわたり、市の道路建設の促進協議会、同盟会の総会が開かれました。

- 小諸インターアクセス道路東西線・押出バイパス道路は、今後説明会を設け、事業の推進を図ります。
- 観光・産業輸送や緊急時の重要幹線である国道141号4車線化は、今年度中の着工予定。
- 小諸上田線の小諸インターと国道18、141号をつなぐ路線は、栃木橋(栃木側)の今年度中の改修が始まる予定。
- 立科小諸線は、小諸―東御―立科を結ぶ重要道路であり、今後も地域説明会を行い協議していく予定。
- 中部横断自動車道建設促進議員連盟は、地元選出国會議員、地元市町村長代表、及び小諸道しるべの会の皆さんと一緒に国交省、財務省に陳情。



Vol.8 人口減少と少子化問題について

出生率回復に 消極的な論調に対して

人口減少には利点も多いので、深刻に考える必要はない。

利点の柱は、「人口が減少すれば一人当たりのパイの分け前は大きくなるので、より豊に暮らせる」という論理だが、人口が激減してもパイの大きさを維持できるという前提がおかしい。日本が直面しているのは生産年齢人口の急減と高齢者人口の増加が同時期に進む、超高齢社会下の人口減少の進行である。





14人の英知で躍動する県政を!

依田明善 (幹事長代理、政策審議会長)
花岡賢一 (副広報企画委員長)
山岸喜昭 (副代表)
今井愛郎 (副広報企画委員長)
竹内久幸 (相談役)
荒井武志 (広報企画委員長)
下沢順一郎 (代表)
小林東一郎 (政務調査会長)
高橋 宏 (顧問)
堀場秀孝 (財務委員長)
小島康晴 (代表代行)
埋橋茂人 (副政策審議会長)
石和 大 (幹事長)
寺沢功希 (副政務調査会長)

()内は公派役職

6月定例県議会

**総額6億9千万円余を補正
飯山市に砂防堰堤を設置へ**

6月22日に開会した6月定例県議会は、7月7日までの本会議で、飯山市の山腹崩落災害への対応や県立大学の運営費など総額6億9千万円余の一般会計補正予算案や県立大学に係る評価委員会条例案・入学科等徴収条例案・定款を制定する事件案など知事提出の16議案を審議、いずれも原案どおり可決しました。

このほか、我が会派提出の地方財政の充実・強化や地域公共交通に対する支援の充実、義務教育の充実、ストーカー対策の拡充、公共事業等における国産材の活用に向けた施策の更なる推進を求める意見書案など議員提出の11議案を可決しました。

補正予算のポイント

- 飯山市井出川山腹崩落災害への対応
土石流災害から住民の生命・財産を守るための砂防堰堤を設置
5億500万円
- 山岳遭難防止のための取組
779万円

山中でのパトロール活動の強化や遭難リスク表示マップの作成など
530万円

教育環境の充実

公共交通機関(しなの鉄道)を活用した探求的な学習活動の推進、県内高校生を対象
189万円

教職員の長時間勤務の改善に向けて部活動指導の負担軽減や校務支援システムの効果等について研究

地域経済の活性化

県内企業と大都市圏の専門人材とのマッチングを実施
2000万円

消防防災航空隊殉職者の顕彰

殉職された消防防災航空隊員の功績を顕彰
1億2240万円

県政対話集会在飯田

7月10日、飯田市「シルクホテル」で「信州・新風・みらい」による本年度最初の県政対話集会在飯田で開催しました。

開催しました。

地元飯田市区選出の小島康晴代表代行の進行のもと、下沢代表のあいさつ、出席県議の自己紹介ののち早速意見交換に入り、参加者110人の中から、13名の方に質問やご要望を発言いただきました。

- ・食品産業の研究費への支援の拡充
- ・道路拡幅事業の実施時期等の明確化
- ・鳥獣被害(とりわけカラス)への対策強化
- ・生産年齢人口確保と移住の取組
- ・保育人材の確保と処遇の改善



次期総合5か年計画の策定に向けて

長野県政の羅針盤ともいえる「総合5か年計画」。いよいよ次の5年に向けての策定作業が始まりました。

すでに私たち県議会においては、各会派から委員が選ばれ「長野県議会総合5か年計画研究会」が立ち上がっています。7月4日には3回目の

進めよう議会改革!!

選挙区等調査特別委員会は、5月25日に「佐久市・北佐久郡」と「小諸市」、29日に「下伊那郡」と「飯田市」、30日に「東筑摩郡」と「松本市」、6月2日には「上水内郡」と「長野市」及び「飯山市・下高井郡」の各地に出向き現地調査を行いました。

割には反対など多くのご意見をいただきました。これらを受け、6月16日から7月6日にかけて断続的に5回の委員会を

開催し、慎重審議の中心は「合区は反対、現状維持を」「人口比率のみの定数配分は疑問」合区は了解する「郡の分区は了解する」

定数1減に

9月定例会日程(予定)

- ▽9月21日 開会
- ▽10月26日 一般質問
- ▽10月29日 一般質問
- ▽10月31日 委員会審議
- ▽11月3日 委員会審議
- ▽11月6日 採決・閉会